

## 年金広報の取組と今後の進め方について②

# 第20回年金広報検討会における主なご意見

## 1. 年金制度の基本的な仕組みの広報

### (1) 若年層の年金に対する不安や誤情報の課題

・若年層を中心に年金に対する漠然とした不安や不信感が根強く、インターネットやSNS上の誤解を招くネガティブ情報が影響を与えているのではないかな。

・過激な情報やフェイク情報が拡散しやすいSNS環境において、正確でシンプルな情報を発信することが重要ではないか。また、高度情報社会に合った適切な情報発信、及び傾聴の仕方を考えていくことが非常に大切。

### (2) 受動的な情報収集の課題

・従来の広報は情報を取りに来る層には届いているが、自分から情報を取りに行かない受動的な層へのリーチが課題ではないか。

・若い世代が日常的に使うSNSなどのツールを活用し、能動的でなく「受動的に触れられる」短い動画コンテンツやウェブ広告などを増やすことが普及に効果的ではないか。

## 2. 生涯を通じた年金教育の強化

### (1) 学校教育における課題

・若年期からの年金教育の導入・強化の必要性が指摘され、特に高校では「ライフプラン」との連携が求められるのではないかな。  
・中高生にとって年金は遠い未来のことで実感が湧きにくく、授業時間も限られていることから、効果的な教材開発が必要ではないか。  
・年金額分布推計や公的年金シミュレーターは、将来に対する年金額の予見可能性を高めるものとして非常に重要な機能があり、公的年金シミュレーターを授業で実際に操作する機会を設けてはどうか。

### (2) 学校への派遣型授業の実施の課題

・学校現場への多様な団体からのアプローチが飽和状態にあるため、厚生労働省などが統一した方向性を示すなど、連携を強化し効果的な教育を推進する必要があるのではないかな。

### (3) 新社会人など多様な年金教育の課題

・金融経済教育推進機構(J-FLEC)のような機関との連携を強化し、年金分野を含む金融経済教育の普及を進めるべきではないか。  
・新社会人が初めて給与明細を受け取るタイミングで年金制度について個別周知を行うなど、自分事として捉えられる機会を増やすべきではないか。

## 3. 年金広報の進め方

・ゴールを設定・共有化して、そこに至るまでのプロセスを明確にすることが重要。どの手段でプロジェクトを設計するか、何を適切なKPIとするかに非常に興味がある。

・広報や教育啓発において、「縦の深掘り」(少人数への徹底啓発)と「横の広がり」(多人数への簡易コンテンツ)の両方を意識し、ミクロ・マクロ両面での「効果検証」が重要ではないか。

# 第25回 社会保障審議会年金部会における広報に関する主なご意見

## 1. 年金制度の基本的な仕組みの 広報

### (1) 若年層の年金に対する不安や誤情報の 課題

- SNSでの積極的な情報発信や誤情報への迅速な対応など、「攻めの広報」を通じて若者の不安に寄り添うことを期待している。

### (2) 誤情報や受動的な情報収集への対応

- 今後は、SNS時代に合わせた双方向で機動的な広報戦略が必要ではないか。
- 全世代に向けた、常日頃からの広報活動が不可欠だと感じている。特に若年層の年金不安を解消するため、誤情報に惑わされないよう、積極的な広報戦略と手法を再検討し、継続的に取り組む必要があると考えている。

## 2. 生涯を通じた年金教育の強 化

- 年金の広報について、学生だけでなく誰もが参加できる対話集会を開くべきだと考えている。

## 3. 年金広報の進め方

- 今回の年金改革議論で、国民の年金制度理解不足は厚生労働省が反省すべき点だと考えている。
- 今回の議論を通じて広報の重要性を痛感した。最も大切なのは、透明性のある議論と財政検証を継続し、それを見せ続けることだ。社会の変化に合わせた制度の見直しと改革こそが、本質的に重要だと考えている。

## 4. 令和7年年金改正法の周知

- 広報にはすでに尽力されているが、引き続き迅速に、そして各改正の段階に合わせたきめ細やかな周知を継続してほしいと望んでいる。
- 被用者保険の適用拡大について、任意適用を促進する広報が重要だと考えている。保険料の負担増を健康保険とセットで明確に説明し、公的年金や社会保険の本質を強調することで、社会の分断を減らせるはずだと考えている。
- 被用者保険の適用拡大に関して、中小企業の事務手続き負担を軽減するため簡素化が必要だと考えている。また、対象事業所へ丁寧な周知広報を徹底してほしいと望んでいる。
- 遺族年金の見直しは複雑なため、特に新制度である死亡時分割について具体例を示した分かりやすい広報が必要だと考えている。改正で新たに受給できるケースもあるため、それを含め、継続的な広報活動を強く望んでいる。

# 年金広報の取組と今後の進め方について（案）

## 1. 年金の基本的な仕組みの広報

### (1) 年金制度の基本的な仕組みの理解の促進の対応

#### (検討課題)

- 若年層を中心に年金に対する漠然とした不安や不信感が根強い。

#### (検討の方向性)

- 年金制度の基本的な仕組みや社会の変化に合わせた制度の見直しの趣旨・内容について、国民の理解を促進するための重点的な項目や伝え方を検討してはどうか。

### (2) 誤情報や受動的な情報収集への対応

#### (検討課題)

- 年金不安解消には全世代向けの積極的な広報が不可欠。SNSを活かした双方向かつ機動的に誤情報に対応し、信頼を築く広報を行う。
- 自ら情報を取りに行く層には情報は届いているが、受動的な情報接触層へのリーチが課題。受動的な層へのリーチを強化する必要。

#### (検討の方向性)

- SNSなどを活用した短い動画やウェブ広告で、自然に情報に触れてもらう広報を検討してはどうか。

## 2. 生涯を通じた年金教育の強化

### (1) 学校教育における課題への対応

#### (検討課題)

- 若年期からの年金教育の導入・強化の必要性が指摘されている。学校における年金教育について、教育現場の声を聴きながら、課題を整理する必要。

#### (検討の方向性)

- 本検討会において、教育現場の声を聴きながら、課題を整理し、学校で活用可能な教育資材を開発するなどして、課題を解決し、年金教育を強化するための方策を議論してはどうか。

### (2) 学校への派遣型授業の課題への対応

#### (検討課題)

- 学校現場への多様な団体からのアプローチが飽和状態にある中、厚生労働省などが統一した方向性を示すなど、連携を強化した対応が望まれている。

#### (検討の方向性)

- 年金関係団体の情報発信について、それぞれの団体の訴求ポイント、特徴、強み等を整理し、学校側が選択しやすいよう情報を整理して学校側に提供できるようにしてはどうか。

### (3) 新社会人など多様な年金教育への対応

#### (検討課題)

- 年金制度を自分事として捉えられる機会を増やす必要。

#### (検討の方向性)

- 本検討会において、現場の声を聴きながら新社会人向けに課題を整理し、解決するための方策を議論してはどうか。「年金の見える化」も引き続き進める。

## 3. 年金広報の進め方

### (検討課題)

- 年金広報・教育において、ゴールの設定と共有化、プロセスの明確化、KPIの設定及び効果検証が重要との意見あり。また、「縦の深掘り」と「横の広がり」両面から把握することの重要性についても意見あり。

### (検討の方向性)

- 年金制度の基本的な仕組みへの理解の状況について、引き続き、統計調査や世論調査を通じて把握してはどうか。

## 4. 令和7年年金改正法の周知

### (検討課題)

- 年金制度改正に関する広報については、一般の見直しの内容に加え、年金制度の基本的な部分も併せてきめ細かく周知・広報する必要。

### (検討の方向性)

- 制度改正の趣旨、対象者や施行時期などを国民にわかりやすく伝えていくとともに、事業主に対しても正確な情報発信に努める。

# 年金広報、年金教育の中期的な取り組みのイメージ（案）

令和7年度

令和8年度

令和9年度

令和10年度

令和11年度

年金改正法成立

令和11年財政検証

年金の基本的な仕組みに関する広報

年金制度・年金財政の基本的な仕組みの分かりやすい広報  
(SNS(ショート動画・テキスト)、動画媒体、Web記事制作など)

生涯を通じた年金教育

■ 中学校・高校生・大学生向け参加型教育

年金対話集会の実施  
※地方厚生局・金融経済教育推進機構等とも連携

■ 年金教育資材の開発と活用

学校教育現場における年金教育に関する課題整理

学校教育現場の課題を踏まえた対応

新社会人向け年金教育に関する課題整理

新社会人向け年金教育の課題を踏まえた対応

年金の見える化

次期公的年金シミュレーターの設計・開発

次期公的年金シミュレーターの試験運用開始

次期公的年金シミュレーターの本格運用

令和7年年金制度改正に関する広報

社会保険適用拡大、在職老齢年金の見直し、遺族年金の見直し、保険料や年金額の計算に使う賃金の上限の引き上げ、子の加算等の施行に合わせた周知

令和7年年金制度改正に関する広報  
SNS(ショート動画・テキスト)、動画媒体、Web記事制作など

# 令和7年度の年金広報、年金教育の取組の状況

小学生以下

中高生

大学生・院生

社会人

年金の基本的な仕組みに関する広報



年金財政動画



適用拡大動画

年金制度に関する分かりやすい動画、広報資料の制作

被用者保険の適用拡大の周知広報(適用拡大特設サイト)

生涯を通じた年金教育

■ 若年者向け参加型教育

こども霞が関見学デー

学生年金対話集会

ユース年金学会

※ 日本年金機構で高校生や大学生向けの年金セミナーなどを実施

■ 教育資材の開発と活用

学研まんが年金のひみつ普及・推進

中高生向け教育教材普及・推進



YouTube動画を活用した年金教育

年金の見える化



公的年金シミュレーター(令和7年6月末時点の試算数866万回超)

次期公的年金シミュレーターの開発(iDeCo、障害年金)

年金額分布推計に基づく多様なライフコースに応じた年金額の公表

年金制度改正に関する広報

年金制度改正に関する分かりやすい広報資料による周知広報(厚生労働省HP、SNS)

任意適用・在職老齢年金の見直しの広報(予定)

# 厚生労働省年金局で開催する今後の日程

【令和7年8月】

## 子ども霞が関見学デー 年金局開催プログラム

年金 【8月7日（木）開催】未来のじぶんすごろく ～おとなになったらどうなるの？～

- 🔗 概要と参加方法
- 🔗 事前にごちらを熟読できてね！
- 🔗 興味があったらこちらも見てください！
- 🔗 お問い合わせ先

【令和7年度子ども霞が関見学デー 年金局開催プログラム】

ガレッジセール・ゴリさんと、年金などについて考えながら学ぼう！  
「はたらく」「おかねをもらう」「おかねをつかう」「ひとをたすける」って、  
どうなってるの？

参加者には、学研マンガ「年金のひみつ」をプレゼント！



ガレッジセール・ゴリさんからコメントが届きました！

「大人の僕だってわからないことだらけ。  
自分の将来のためにも一緒に学ぼうね」

©YOSHIMOTO KOGYO CO.,LTD.

【令和7年11月】

## ユース年金学会の共催

### 第10回ユース年金学会を共催します

厚生労働省は、令和7年11月29日（土）、日本年金学会や公益財団法人年金シニアプラン総合研究機構と共に、第10回ユース年金学会を共催します。

ユース年金学会は、大学学部生のゼミや研究グループが年金に関する研究成果を発表し、意見交換を行う場であり、年金の理解を深めるものとなっています。また、次世代を担う若者たちが年金についてどのように考えているか、生の声を聴く貴重な機会でもあります。厚生労働省はその趣旨に賛同し、令和6年から共催しています。

厚生労働省は、平成26年から、11月30日（いいみらい）を「年金の日」としています。この日を中心に、趣旨に賛同いただいた団体等と協働して、年金広報・教育の取り組みを実施し、高齢期に備え、その生活設計に思いを巡らせていただくことを呼びかけています。

#### 開催概要

- 日時：令和7年11月29日（土）
- 場所：慶應義塾大学 三田キャンパス（東京都港区三田2-15-45）
- 開催形式：対面集合式を含むハイブリッド開催（Zoomウェビナー併用）
- 共催：日本年金学会  
公益財団法人年金シニアプラン総合研究機構  
慶應義塾大学経済研究所ファイナンシャル・ジェロントロジー研究センター  
厚生労働省

※詳細はこちらのリンクをご覧ください。  
日本年金学会 第10回ユース年金学会  
<https://www.pension-academy.jp/youth/index.html>

# 令和7年度の年金広報検討会の議論の進め方のイメージ(案)

令和7年度

令和7年  
4月23日

## 第20回 年金広報検討会

議題: 年金広報の取組と今後の進め方について①  
令和7年度の年金広報の取組について  
次期公的年金シミュレーター的设计・開発について①

令和7年  
7月30日

## 第21回 年金広報検討会

議題: 年金広報の今後の進め方について②  
次期公的年金シミュレーター的设计・開発について②  
年金教育について①

冬頃

## 第22回 年金広報検討会

議題: 次期公的年金シミュレーターの普及促進について  
年金教育について②

春頃

## 第23回 年金広報検討会

議題: 令和8年度の年金広報の取組について  
その他